

ポンプの使い方

《ポンプの状態お知らせライト》

ポンプ本体にライトアタッチメントを取り付けて電源スイッチを操作すると、ライトはポンプの状態を右表のようにお知らせします。



給油中	点灯
満タンで自動停止	通常点滅(5分間)
バッテリー残量が少ない(早めの充電をおすすめします)	2回連続点滅のくり返し
一瞬だけ点灯	・ポンプ本体との接続に問題がある ・ポンプ本体の故障(11ページ「故障かな?」と思ったら(故障と処置))参照

給油時の点灯中、停止後の点滅中に問わず、ライトスイッチを押せばいつでも「ライト切り替えサイクル」に入ります(9ページ「ライトの使い方」参照)。

取り扱いのポイント

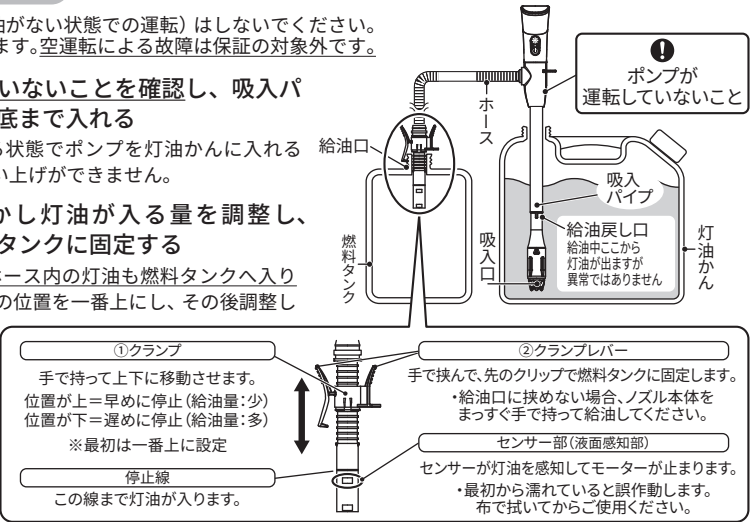
空運転(灯油かんに灯油がない状態での運転)はしないでください。ポンプ故障の原因になります。空運転による故障は保証の対象外です。

1) ポンプが運転していないことを確認し、吸入パイプを灯油かんの底まで入れる

ポンプが運転している状態でポンプを灯油かんに入れると、電源を入れても吸い上げができません。

2) ①クランプを動かし灯油が入る量を調整し、②クリップで燃料タンクに固定する

ポンプの停止時にはホース内の灯油も燃料タンクへ入ります。最初はクランプの位置を一番上にし、その後調整してください。



3) 電源スイッチを長押しする

- ・ライトが点灯し、給油を開始します。ポンプが動き、灯油が流れていることを確認してください。
- ・停止線まで灯油が入るとセンサーが感知して給油を自動停止し、ライトが点滅します(5分間)。
- ・センサーの感知前に給油を止めたい場合は、電源スイッチを押してください。電源が切れ、ライトが消灯します。



7

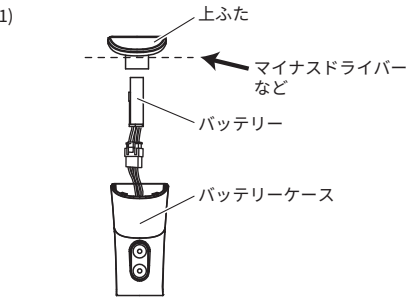
バッテリーのリサイクル、本体の廃棄

本製品を廃棄するとき、バッテリーを内蔵したまま廃棄しないでください。火災などのおそれがあります。以下の手順でバッテリーを取り出し、リサイクルに出してください。なおバッテリーやリード線を引き出すため製品は使用不可能になります。

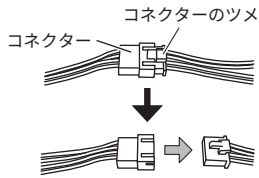
1. バッテリーの取り出し

1) ライト上部の隙間にマイナスドライバーなどをさし込み、上ふたを外す

上ふたやケースが破損する可能性があります。ケガをしないよう慎重に行ってください。

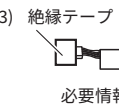


2) バッテリーを引き上げて、コネクターのツメを押しながら引き抜く



3) テープ(絶縁テープ)で端子を覆う

コネクター部は端子全体を覆ってください。



バッテリーの表面にはリサイクルに必要な情報が表示されています。その内容を絶縁テープなどで隠さないでください。



リチウムイオンバッテリーはリサイクルへ

2. 本体の廃棄

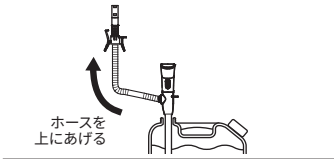
バッテリー以外の製品本体・部品は、お住いの自治体の決まりに従って廃棄してください。

ポンプの使い方

4) ホース内に残った灯油を出し切る

ホース先端に付いた灯油が垂れないように注意しながら、ノズルを本体より高く持ち上げ、ホース内に残った灯油を灯油かんに戻してください。

戻さないと灯油が垂れ、床などを汚すことがあります。



5) 使用後は必ずポンプが止まっていることを確認し、灯油かんから抜いて保管する

ポンプに残った灯油はよく切り、乾いた布で拭いてください。ホース先端をホースホルダーにかけて保管してください。

・ポンプは必ず灯油かんから抜く
ポンプを灯油かんに入れたままにしておくで故障や思わぬ事故の原因となります。



お手入れと保管

1. お手入れ

- ・汚れたときは、乾いた布できれいに拭いてください。
- ・ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。変色、変形、ひび割れの原因になります。

2. 保管

《保管場所》

- ・室内で換気が良い
- ・湿気やほこりが少ない
- ・湿度や温度が急変しない
- ・直射日光が当たらない
- ・水、塩分、火気、可燃性ガス、揮発・腐食性物質、金属粉がない
- ・子ども、ペットが触れない
- ・熱源のそばや、真夏の締め切った自動車内など高温になる所は避ける

《長期間ご使用にならない場合は》

- ・充電してから保管してください。
バッテリーが過放電状態(低電圧)になると、再充電できなくなる可能性があります。
- ・ポンプ本体にライトアタッチメントまたは保護キャップを装着した状態で保管してください。
端子部にホコリや異物が付くと、接触不良や製品破損など不具合の原因となります。

8

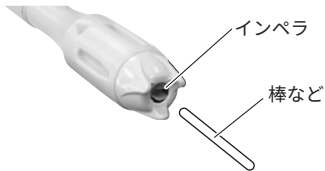
「故障かな?」と思ったら(故障と処置)

症状	考えられる原因	処置
・電源ボタンを長押ししてもポンプが動かない ・吸い上げない ・吸い上げが弱い	ライトアタッチメントとポンプ本体がしっかり接続されていない バッテリー残量が少ない、バッテリーが上がっている バッテリーの温度が下がりすぎている	しっかり接続する 充電する
	バッテリーの温度が上がりすぎている	ライトアタッチメント(バッテリー内蔵部分)を5～40℃の室内などに放置し、充電に適切な温度にする
	バッテリーの温度が上がりすぎている	風に当てて冷ます
	長時間の空運転によるポンプ内部(オイルシール)の破損	修理不可(保証の対象外)
	インペラの固着	「処置」参照
	燃料タンク内のフィルターや突起物に当たり、跳ね返った灯油にセンサーが感知すると、ポンプの運転が止まります。	・燃料タンク内のフィルターを外す ・タンク内に突起物がある場合にはご使用になれません(12ページ「主な仕様」参照)
・吸い上げない ・吸い上げが弱い	給油側タンクが高い位置にある 電源を入れたまま灯油の中にポンプを入れた	灯油かんの横におく ポンプの電源を切り、一旦ポンプを灯油かんから抜いてやり直す(7ページ「ポンプの使い方」1)参照)
ライトが自動的に点灯・点滅などする	ライトはポンプの運転に連動して動きます	7ページ「ポンプの状態お知らせライト」参照
電源スイッチを長押ししても、ライトが一瞬光るだけでポンプに何も起こらない ※	ライトアタッチメントとポンプ本体がつながっていない、またはすき間が空いている ポンプ本体側の故障(ポンプ本体を検知できない)	ライトアタッチメントとポンプ本体をしっかりとつなげる 本紙に記載の「工進修理受付窓口」または購入店に点検をご相談ください。

※ライトアタッチメントをポンプ本体から離れた状態で電源スイッチを長押しすると、ライトが一瞬光ってすぐ消灯します。その後ポンプ本体につなげて何も起こりません。ポンプを運転するときは、ライトアタッチメントをポンプ本体につなげた状態で電源スイッチを長押ししてください。

処置：インペラの固着

吸入口内のインペラが灯油で固着している可能性があります。棒などでインペラを回して、固着を取り除いてください。(パイプ先端を、灯油かん内で軽く壁面にあてて衝撃を与える方法でも可)



ライトの使い方

《独立したライト(照明)として使用》

ポンプの運転状態や、ポンプとの接続状態に関わらず、ライトスイッチを押すことでいつでも独立したライト(照明)として使用することができます。その場合、下記のように点灯・消灯を切り替えることができます。

ライト切り替えサイクル

ライトスイッチを押すたびに、現在のライトの状態から次の状態に切り替わります。④の次は①に戻り、順番に繰り返されます。



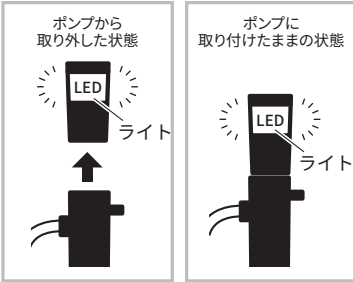
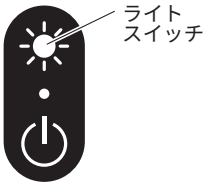
- ・ただしポンプに取り付けたままのときは、7ページ《ポンプの状態お知らせライト》の挙動が優先されます。その場合でも再度ライトスイッチを押せば、上記の「ライト切り替えサイクル」に戻ります。
- ・充電中でもライトスイッチを押すことでライトを点灯させることができます。
- ・ポンプから取り外した状態で使用するときは、ポンプ本体には保護キャップをかぶせてください。
- ・バッテリーが少なくなると、同じ明るさのレベルでもライトがだんだん暗くなります。充電すれば、元の明るさに戻ります。

警告

- ・ライトアタッチメントやポンプ本体の金属端子同士を、金属片などで触れてショートさせない
火災や感電、故障の原因になります
- ・雨など、水にぬらさない
- ・浴室など湿度が高い所では使用しない
非防水構造です。ショートや感電のおそれがあります。

注意

- ・長期間ライトを使用しない場合は、ポンプ本体に接続し端子部分が露出しないようにする
感電や製品の破損の可能性があります。



9

主な仕様

バッテリー、充電関係の仕様は5ページをご覧ください

機種名	BEP-10
製品名	充電式灯油ポンプ
用途	灯油かんからの油の移送 ※1,2,3,4
ポンプ	タイプ 遠心ポンプ 吐出ホース長さ 620 mm 吐出口径 20 mm ※2 吸入口径 35 mm ※2 吐出量 12 L/min ※5
使用液	液質 灯油 ※1 液温 -5～+40℃
自動給油停止装置	あり(液面感知センサー《ポンプの状態お知らせライト付き》)
保護・安全装置	ポンプ本体オートパワーオフ:5分
ポンプ運転時間(満充電時)	約70分 ※6
ポンプ運転量	20 L 灯油かん 約40杯(800 L) ※6
使用環境温度	-5～+45℃
製品寸法	全長(L)×全幅(W)×全高(H):49×64×554 mm
製品重量	350 g ※7
付属品	USB充電ケーブル1本(30cm)※8、保護キャップ1個、ボールチェーン1個、取扱説明書1部
※1: 用途以外の目的に使用しないでください。使用不可液体例:ガソリン、第一石油類、A重油、溶剤、薬品、水など	
※2: サイズが合わない器具には使わないでください (JIS規格推奨・認定マーク付き灯油かん推奨)。	
※3: 下記のような形状の燃料タンクを持つ暖房器具には使用しないでください。 自動停止センサーが正常に作動しないことがあります。 ・ダルマストープなど燃料タンクが本体と一体になったもの ・燃料タンクの口にフィルターや突起形状のあるもの	
※4: 下記のような形状の灯油かんに使用してください。 守らないと灯油かん口から灯油がもれ、床を汚す原因となります。 ・灯油かん口が高さ15cm以上の箇所にあり、 本製品の灯油戻し口が灯油かん内に収まるもの	
※5: JIS S 2037 流量試験法による。	
※6: 1充電あたり。実使用では使用状況によって異なります。	
※7: 内蔵電池を含む。	
※8: USB充電ケーブルは本製品の充電以外に使用しないでください。 本製品と推奨 USB充電器以外の動作確認は行っていません(2025年5月現在)	